

店

平成13年9月27日

各位

株式会社 朝日ラバー
代表取締役社長 伊藤 巖
(登録銘柄 コード5162)
問い合わせ先
役職・氏名 管理本部長 中沢 章二
TEL 048-650-6051

平成14年3月期(平成13年4月1日~平成14年3月31日) 中間業績予想との差異及び通期並びに業績予想の修正について

平成14年3月期(平成13年4月1日~平成14年3月31日)の業績予想について、平成13年5月25日付け決算短信及び連結短信発表時の業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成14年3月予想の修正等

(1) 連結当中間期(平成13年4月1日~平成13年9月30日)との差異

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期利益
前回予想(A)	1,667	91	48
今回修正(B)	1,486	13	1
増減額(B-A)	181	78	49
増減率	10.9%	85.7%	102.1%

個別当中間期(平成13年4月1日~平成13年9月30日)との差異

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期利益
前回予想(A)	1,650	93	51
今回修正(B)	1,473	12	15
増減額(B-A)	177	81	66
増減率	10.7%	87.1%	129.4%

(2) 連結通期の業績予想(平成13年4月1日~平成14年3月31日)の修正

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期利益
前回予想(A)	3,740	384	209
今回修正(B)	3,280	190	80
増減額(B-A)	460	194	129
増減率	12.3%	50.5%	61.7%

個別通期の業績予想(平成13年4月1日~平成14年3月31日)の修正

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期利益
前回予想(A)	3,700	380	208
今回修正(B)	3,250	200	70
増減額(B-A)	450	180	138
増減率	12.2%	47.4%	66.3%

(3) 修正の理由

売上高については、国内及び海外の情報通信関連の減産や在庫調整の影響を強く受け、1,486百万円と予想より減少となる見込みです。

経常利益については、製造経費、販売経費とも予算を下回りましたが、売上高の計画未達による影響が大きく、また、為替差損の計上により、13百万円と大きく計画を下回る見込みです。

当期損失については、時価会計導入により、投資有価証券評価損、固定資産除却損の計上により、1百万円となる見込みです。

(4) ご参考:連結前期の実績(平成12年4月1日~平成13年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期利益
中間期(12/4~12/9)	1,796	188	106
通期(12/4~13/3)	3,582	336	189

個別前期の実績(平成12年4月1日~平成13年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期利益
中間期(12/4~12/9)	1,787	186	105
通期(12/4~13/3)	3,567	336	185

以上